

令和8年度日米豪共同指揮所演習(YS-91)の概要

名 称

本演習の通称：YS-91（ヤマサクラ91）
日米の部隊章「富士山」と「桜花」が由来

演 習 目 的

陸上自衛隊、米軍及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練し、その能力の維持・向上を図る。

期 間

令和8年8月29日（土）～9月10日（木）
※ 演習期間の前後約1週間に準備及び撤収を実施予定

場 所

朝霞駐屯地、東千歳駐屯地、健軍駐屯地、善通寺駐屯地 等

演 習 参 加 部 隊

自衛隊	米豪軍
陸上総隊、北部方面隊、西部方面隊、教育訓練研究本部補給本部 等（東北方面隊、東部方面隊、中部方面隊等が支援） 計 約5,200名	米軍：第1軍団、第3海兵機動展開部隊 等 計約1,100名 （在日米陸軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍等が支援） 豪軍：豪陸軍第1師団 計 約200名

演 習 概 要

- 日米豪の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした陸自の最大かつ重要な日米豪の共同演習
- より効果的な演練のため、日米豪の共同により年間を通じた演練を実施
- 演習内容は、着上陸侵攻する敵部隊を撃破する作戦を基本として日米豪の共同で演練
- 令和5年より豪陸軍が演習部隊として参加
- 各国の在京武官等がオブザーバーとして研修予定

演 習 形 態

各駐屯地等において対面による指揮所活動を実施するとともに、TV会議の活用も含めた訓練を実施

昨年度の訓練イメージ

<YS-89 (昨年度) の状況>



【訓練開始式】



【同志国による研修】



【陸上幕僚長の視察】



【訓練終了式】

